

横須賀市荻野川から得られた カワリヌマエビ属の記録

萩原清司*

Record of *Neocardina* spp.
collected from the Ogino river,
Yokosuka City

HAGIWARA Kiyoshi*

キーワード：甲殻類，ヌマエビ科，外来生物，
三浦半島，分布

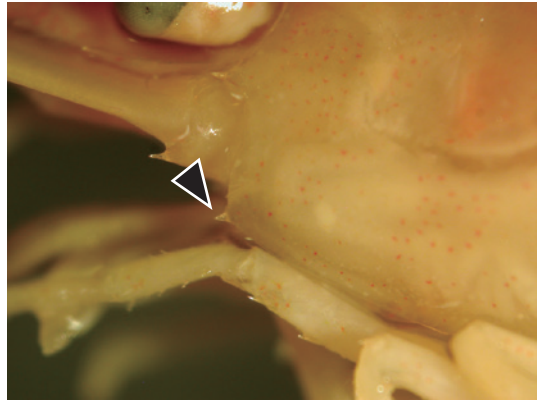
Key words : crustacea, Atyidae, adventive organisms,
Miura Peninsula, distribution

カワリヌマエビ属 *Neocardina* は，ヌマエビ科 Atyidae に含まれる小型の淡水性のエビ類で，頭胸甲の前側角部に棘を有することで同科他属と区別され（第1図），発生は直達発達で浮遊幼生期はなく，大径の卵から稚エビの状態で孵化して陸封生活を送る（Shih and Cal, 2007；侵入生物研究チーム）。本属は三浦半島を含む関東地方には自然分布しないが，1960年代から観賞用として西日本や中国などから持ち込まれ，1990年代から各地で野生化が問題視されはじめ，現在に至っている（侵入生物研究チーム；片山ほか，2017）。当初は四国を除く西日本に分布するミナミヌマエビ *Neocardina denticulata denticulatae* として報告されていたが，後に中国産亜種 *Neocardina denticulata sinensis* またはこれとミナミヌマエビとの交雑種など複数の遺伝子集団が含まれている可能性があることから，カワリヌマエビ属 *Neocardina* spp. と記されるようになっていく（藤沢市，2012；横浜市，2014；金澤，2015；西田，2016；片山ほか，2017）。

2022年9月に行われた横須賀市長坂緑地内の松越川水系荻野川における水生生物調査において，カワリヌマエビ属と同定される個体が採集された。横須賀市では，これまで本属の標本に基づく記録がなかったことから，横須賀市内からの初記録として報告する。

本報告の材料は横須賀市博物館甲殻類資料 (YCM-C) として登録し，計測にはデジタルノギスを用いて行った。

本報告をまとめるにあたり，供試標本の収集に協力いただいた横須賀市自然環境共生課およびNPO法人三浦半島生物多様性保全の諸氏に感謝の意を表す。



第1図 カワリヌマエビ属 *Neocardina* の特徴である頭胸甲の前側角部の棘 (▼)。

供試標本及び記載

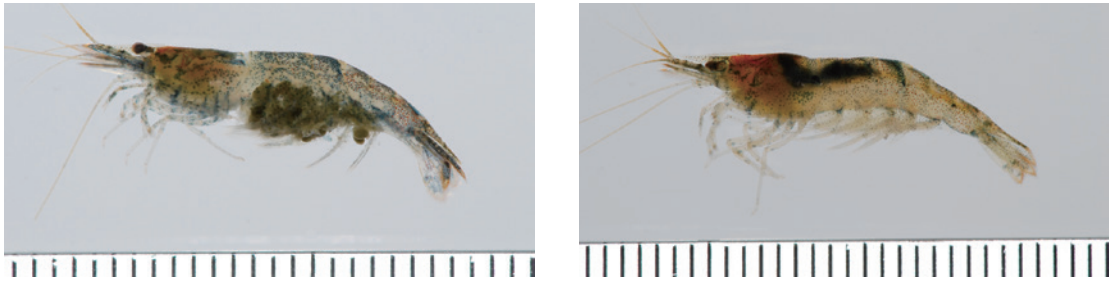
○カワリヌマエビ属 *Neocardina* spp.

標本番号：YCM-C1071-1（第1図）～8，8個体，計測値は第1表参照，採集日 20220901，神奈川県横須賀市長坂緑地松越川水系荻野川（沢山池上流；北緯 35° 14' 16"，東経 139° 37' 60"），萩原清司採集。供試標本は頭胸甲の前側角部に1棘を有し（第1図），雌は眼径を上回る大きさの卵を抱卵するなど（第2図B），カワリヌマエビ属の特徴と一致した（Shih and Cal, 2007；侵入生物研究チーム）。

備考

本種は陸封生活を送るため海域を通じて別水系に分散することはなく，供試個体は人為的に持ち込まれたものと考えられる。本種は滋賀県では在来種との交雑や競合の可能性が大きいことから，2020年から指定外来種として野外への放逐を条例で禁止している（滋賀県，2022）。また，埼玉県では在来種ヌカエビ *Paratya compressa improisa* の生息水域にカワリヌマエビ属が進入したことによってヌカエビが激減し，カワリヌマエビ属に置き換わった例が報告さ

*横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95
原稿受付 2022年12月20日 横須賀市博物館業績 776号



第2図 採集されたカワリヌマエビ属 *Neocardina* spp. A, YCM-C1071-7, 雄. B, YCM-C1071-1, 雌.
 図中目盛は1 mm

第1表 供試標本 (YCM-C1071) 全8個体の計測値.

YCM-C1071	体長 (mm)	頭胸甲長 (mm)	性	備考
-1	26.4	8.4	♀	抱卵
-2	21.1	6.9	♀	抱卵
-3	21.8	6.9	♀	抱卵
-4	19.7	6.2	♀	抱卵
-5	18.7	5.8	♀	抱卵
-6	19.7	5.4	♀	
-7	17.3	5.1	♂	
-8	15.9	4.6	♂	

れている(金澤, 2015)。本報告の採集地点では交雑の可能性のある同属の種は分布していないが、ヌマエビ科の在来種ヤマトヌマエビ *Cardina multidentata* が生息し、種間競合が懸念される。飼育動物の安易な野外への放逐は、生態系に大きな影響を及ぼす可能性があり、厳に慎むべきであろう。

引用文献

- 藤沢市 2012. 平成 23 年度境川・引地川水生生物調査結果. 59 ページ. 藤沢市.
- Shih H. and Cal Y. 2007. Two new species of the Land-Locked freshwater shrimps genus, *Neocardina* Kubo, 1938 (Decapoda: Caridea: Atyidae), from Taiwan, with notes on speciation on the Island. *Zoologica studies*, 46(6): 680–694.
- 金澤 光 2015. 埼玉県に侵入した外来甲殻類ヌマエビ科カワリヌマエビ属の現状について. 埼玉県環境科学国際センター報, (15): 152–156.
- 片山 敦・佐藤僚介・吉川朋子 2017. 東日本鶴見川におけるカワリヌマエビ属とヌカエビの急激な分布の変化. 自然環境科学研究, (30): 5–12.
- 西田一也 2016. 相模川城山ダム流域における在来生物ヌカエビ *Paratya improvisa* と外来種カワリヌマエビ属エビ類 *Neocardina* spp. の流程分布. 神奈川県自然誌資料, (37): 21–24.
- 滋賀県 指定外来種について. 滋賀県ホームページ. <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyuhozen/shizen/322849.html>. 滋賀県. (2022年9月15日閲覧)
- 侵入生物研究チーム カワリヌマエビ属. 侵入生物データベース. <http://www.nics.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70530>, 国立環境研究所. (2022年9月15日閲覧)
- 横浜市環境科学研究所 2014. 横浜の海と川の生物 (第14報・河川編) 概要版. 43 ページ. 横浜市.